

キャンピングカーで 北国の「道の駅」再発見

食、寝、遊、備 [くうねるあそび] **東北編**



キャンピングカー旅行の醍醐味は、まずそれぞれの地方に向かなければ味わうことのできない地元の名物料理。
そして、その地方の人たちに昔から愛されてきた個性豊かな温泉。
それらをたっぷり味わうことができるのが、いつでもどこでもさまざまな宿泊や休憩を保証してくれるキャンピングカーです。

キャンピングカーはその小さな空間に「食べること」の喜びと、「寝ること」の快適さと、
「遊ぶこと」の楽しみをコンパクトにパッケージした夢の乗り物。
その車内に備わっている照明、冷蔵庫、ガスレンジなどを有効に使えば、「道の駅」やホテルの駐車場だって、あなたの別荘に早変わり。

日本RV協会では、そのようなさまざまな旅を実現するために、全国の「道の駅」にはキャンピングカー専用施設の「RVパーク」を。
そして、ホテルや旅館においては、その施設の温泉を利用しながら、
駐車場に止めた自分の車で寝られる「湯YOUパーク」を整備してきました。
もちろん、各地のキャンプ場とも連携し、キャンピングカーユーザーが利用するときの割引料金システムを導入するなど、
さまざまな便宜を図っています。

いまキャンピングカーを活用できるフィールドはものすごい勢いで充実してきました。
そんな新しい旅のスタイルを活かして、さあ、どこへ向かいますか？

いいところがあります！
それが、グルメと温泉の宝庫、東北地方。
今回の『くるま旅』では、この東北地方を中心に、
キャンピングカーの旅情報をお伝えすることにいたしましょう。



キャンピングカーで東北「道の駅」のグルメを堪能

その
1



こんな味があったか!!

東北の創意工夫が生んだ究極のご当地料理

東北地方は“グルメ旅”の最適地。季節の織りなす海と山の幸に恵まれた「おいしい食材」の宝庫である。

キャンピングカー旅行の дайご味は、なんといっても、地元の新鮮な食材を使った郷土料理に直に触れること。

今回は、東北地方の「道の駅」で味わえるさまざまなグルメ情報を

フリーペーパー『michi-co』の編集スタッフにご指導いただき、ここに紹介する。

秋田県

「道の駅・象潟 ねむの丘」

秋田県にかほ市の“給食から生まれた”ご当地グルメ。昭和40年代、給食のうどんを注文していた平沢小学校の給食室に、間違っって中華乾麺が配達されたとか。そこで、栄養士と調理師が急きょ工夫して作ったのが、このあげそば。一度素揚げした中華乾麺を干しいたけ出汁の効いたつゆに豚肉と野菜を入れて煮込んだところ、驚くほどのうまさ！子どもたちが大喜びしたために給食の定番メニューとなり、さらに現在ではご当地グルメに。550円

あげそば

Data | 住所：秋田県にかほ市象潟町字大塩越73-1
電話：0184-32-5588



寝遊備食
[くうねるあそび]
kuuserveasobi



油麩井



宮城県

「道の駅・林林館 森の茶屋」

グルテン麦粉を水でこねて熟成した生麩をじっくり揚げたのが「油麩」。良質なタンパク質を豊富に含んでおり、肉が貴重な時代からの登米地方の重要な栄養源でもあった逸品。味そのものを主張することなく、一緒に調理する野菜やだしの旨味を吸って上品なコクをプラスする。650円

Data | 住所：宮城県登米市東町米川字六反33-1
電話：0220-45-1218

かほく冷たい肉そば

山形県

「道の駅・河北 ぶらっとぴあ」

蕎麦どころ山形でも珍しい冷やしつゆの蕎麦。コクがあり旨みの強い鶏だしと薄口しょうゆの上品な味が特徴。冷たくしたのは「酒の肴にしてゆっくり食べても伸びないように」という理由から。昭和20年代から受け継がれてきた郷土の味としてB級ご当地グルメの祭典「B-1グランプリ」に出展され、河北町を全国にPRすることになった人気メニュー。730円

Data | 住所：山形県西村山郡河北町谷地字真木335-1
電話：0237-71-0529



凍みつばなし井

しみつばなし

宮城県

「あ・ら・伊達な道の駅」

伊達正宗が青年期を過ごした岩出山には、豆腐を凍結熟成した「凍みつばなし」という料理が昔から伝わっている。この「凍みつばなし」に衣をつけて揚げ、甘じょっぱく煮込んでご飯に載せたのが「凍みつばなし井」。一口食べるとカツ井の味。そして二口目からは豊かな大豆の香りが味わえる。500円

Data | 住所：宮城県大崎市岩出山池月字下宮道下4-1
電話：0229-73-2236

青森県

「道の駅・とわだ とわだぴあ」

「農アイス」とは、十和田市の農産物を生かしたソフトクリーム。2010年から発売され、多い日には1日600個も売れたことがあるという。

手がけているのは、道の駅・とわだに農産物を出荷している「(株)直産とわだ」の40代、50代の地元のお母さんたち。ソフトに使われる原材料は、十和田産のお米「まっしぐら」と十和田産の大豆「おおすず」の豆乳。トッピングには、珍しい野菜やハーブも使われている。お正月、節分などに合わせてスペシャルデコレーションアイスも人気だ。ワッフルタイプ280円

Data | 住所：青森県十和田市大字伝法寺字平窪37-2
電話：0176-28-3790



農アイス



キャンピングカーで東北「道の駅」のグルメを堪能

その
2

ラーメンとハンバーガーは日本人の国民食 今や、その最先端を行くのが東北

地元の食材や、地元の伝統料理を巧みに採り入れ、そこに日本人の食生活に定着したラーメンを掛け合わせる。

それがいま全国に広まっている「ご当地ラーメン」。

なかでも、味の追求にかけては、他の地方の追随を許さないのが東北だ。

食
寝遊備
[くうねるあそび]
[kusuneru-asobi]

ご当地ラーメン シリーズ

フカヒレ
ラーメン



宮城県
「道の駅・大谷海岸」

気仙沼名物の高級食材フカヒレを使ったコラーゲンたっぷりの美肌麺。中華風に煮込んだフカヒレの濃厚なうま味があっさり塩味のスープと絶妙にマッチング。900円

Data | 住所：宮城県気仙沼市本吉町三島94-12
電話：0226-44-3180

会津山塩
ラーメン



福島県
「道の駅・裏磐梯」

しょっぱい温泉で知られる大塩裏磐梯温泉水を煮詰めて天日干しにした貴重な山塩ベースで作った透き通った黄金色のスープ。ミネラルたっぷりのまろやかな味わいが特徴。ほどよく縮れた麺との相性が抜群。650円

Data | 住所：福島県耶麻郡北塩原村大字松原字南黄連沢山1157
電話：0241-33-2241

特製大粒
しじみラーメン



青森県
「道の駅・十三湖高原」

青森のブランド食材「十三湖しじみ」を存分に入れた極上ラーメン。しじみのエキスと煮干ダシをあわせた白濁スープは濃厚な味わいがたっぷり。1,100円

Data | 住所：青森県五所川原市相内実取287-1058
電話：0173-62-3710(レストランわらび)

牛煮込み
ラーメン



山形県
「道の駅・いいで」

国産黒毛和牛を使用した贅沢なラーメン。柔らかく煮込んだ牛肉と、ごぼう&ねぎが醤油ベースの純和風スープと贅沢な競演を披露。950円

Data | 住所：山形県西置賜郡飯豊町大字松原1898
電話：0238-86-3939

ご当地バーガー シリーズ



岩手県
「道の駅・雫石あねっこ」

地元パン工房の手作りパンズに、雫石牛入りメンチカツと地元産の新鮮キャベツをサンド。すべて地産地消の名物バーガー。350円

Data | 住所：岩手県岩手郡雫石町橋場坂本118番地10
電話：019-692-5577

フランス鴨
親子バーガー



秋田県
「道の駅・東由利」

道の駅・東由利の人気商品が「フランス鴨バーガー」。その「フランス鴨バーガー」に、地元特産フランス鴨のパーティを使い、フランス鴨の玉子を使用したパンズを挟んだのが「フランス鴨親子バーガー」。特性ピリ辛ソースとの相性が抜群。450円

Data | 住所：秋田県由利本荘市東由利老方字畑田28
電話：0184-69-2611

近年全国に広がっている「ご当地バーガー」だが、東北の道の駅でも地域の食材を生かしたオリジナルバーガーがいっぱい。そのうちのいくつかを紹介。



青森県
「道の駅・よこはま」

陸奥湾産ホタテ貝の貝柱をたっぷり使ったビッグなホタテフライと、菜の花を入れたオーロラソースが特徴の絶品バーガー。380円

Data | 住所：青森県上北郡横浜町字林ノ脇79-12
電話：0175-78-6687

喜多方
ラーメン
バーガー



福島県
「道の駅・喜多の郷」

喜多方ラーメンのおいしさがギュッと詰まった話題の逸品。パンズ代わりに地元産の小麦粉を使った麺を焼き固め、醤油ラーメンスープを塗り、麓山高原豚の厚切りチャーシュー、ネギ、メンマ、ナルトを挟んだ本格派。350円

Data | 住所：福島県喜多方市松山町鳥見山字三町歩5598-1
電話：0241-21-1139

東北の「道の駅」は名湯パラダイス

キャンピングカーで回ってみたい評判の温泉

東北の「道の駅」には、温泉を併設しているところが16カ所もある。

しかも、そのどれもが、その土地の風土と伝統に培われた個性豊かな風貌に彩られている。

キャンピングカーの東北旅行のキーワードは、ずばり「道の駅名湯めぐり!!」



食
寝
備
遊
[くねるあそび]
kuu-neru-asobi

ふたごの湯

宮城県

「道の駅・上品の郷」
じょうぼんのさと

温泉を持つ道の駅でも特に人気が高いのが、宮城県「道の駅・上品の郷」にある「ふたごの湯」。鉄分を含んだ赤茶色のお湯には美肌効果があり、しかも体を芯から温めてくれると評判。県内産杉材を使った木造建築の館内は、まるで高級旅館の趣き。広い休憩室や、食堂、売店、マッサージルームも完備している。



Data | 住 所：宮城県石巻市小船越字二子北下1-1
電 話：0225-62-4126
定 休 日：毎月第4火曜日
料 金：大人500円
入浴時間：9:00～21:00

関の庄温泉・御仮屋御殿

青森県

「道の駅・いかりがせき」

名湯・秘湯に恵まれた青森県でも、特に地元住民から支持されている温泉のひとつが碓ヶ関の「関の庄温泉」。その温泉を引いた「道の駅・いかりがせき」にある「御仮屋御殿（おかりやごてん）」では、大浴場のほか、殿様気分が味わえる貸し切り風呂が名物。泉質はツルツルと肌をすべるクセのない単純温泉で、体に優しい。



Data | 住 所：青森県平川市碓ヶ関阿原23-2
電 話：0172-46-9355
定 休 日：12月31日と1月1日
料 金：大人300円
入浴時間：9:00～20:00

なの花温泉^{でんでん}田田

山形県

「道の駅・庄内みかわ」

山形県・庄内地方にある「なの花温泉田田」は、県外からも多くの方が集まってくる有名温泉。1990年にオープンしてから入浴者が600万人を超えるという人気を誇っている。無色透明な食塩泉と、にごり茶褐色の強食塩泉の2本立て。どちらも疲労回復、慢性皮膚病に効能がある。食堂の料理もおいしいと評判。



Data | 住 所：山形県東田川郡三川町大字横山字堤172-1
電 話：0235-66-4826
定 休 日：毎月第3水曜日の6:00～17:00
料 金：大人400円
入浴時間：6:00～22:00

東和温泉

岩手県

「道の駅・とうわ」

釜石自動車道の東和インターからわずか1分。好アクセスを誇っているため、ドライブ途中の利用客が多い。湯は、美肌によいとされるアルカリ性温泉と、湯に炭酸ガスを溶かし込んだ炭酸泉。「体が芯から温まる」と利用客からは好評である。隣接する「おためし工房」では、自分でジャムやソース、パン作りを楽しむことができる。



Data | 住 所：岩手県花巻市東和町安俣6-135
電 話：0198-42-4311
定 休 日：毎月第1水曜日、1月と5月は第2水曜日
料 金：大人600円
入浴時間：冬季10:00～21:00、夏季～22:00

東北の温泉は風情が違う

北国だから発達した温泉文化



食寝備遊
[くうねるあそび]
[kuu-neru-asobi]

岩城温泉・港の湯

秋田県

「道の駅・岩城」

湯に浸りながら、日本海の絶景を堪能できる岩城温泉「港の湯」。全面ガラス張りの内風呂に入り、雪の舞い散る冬の日本海を見物するのも一興。晴れた日なら、より海に近い露天風呂に浸かり、島のようにかすむ男鹿半島を眺めるのも楽しい。お湯はちょっと熱めの強塩泉。外の寒い日でも、じわじわと体を温めてくれる。



Data

住所：秋田県由利本庄市岩城内道川字新鶴湯192-43
電話：0184-73-3789
定休日：4~6月第2水曜、7~8月無休、11~3月第2・第4水曜と1月1日
料金：大人400円
入浴時間：9:00~21:00

蔵の湯

福島県

「道の駅・喜多の郷」

山あいの美しい風景を見ながら、露天風呂でのんびりと心身を癒す贅沢が味わえる道の駅・喜多の郷の「蔵の湯」。なめらかな泉質は化粧水のようにだと女性客から評判だ。地産地消にこだわった名物料理が人気を呼んで、ドライブの途中にここを訪れることを楽しみにしている常連客も多い。



Data

住所：福島県喜多方市松山町鳥見山字三町歩5598-1
電話：0241-21-1526
定休日：毎月第1水曜日と12月31日
料金：大人500円
入浴時間：9:00~21:00

東北地方の「道の駅」における公式マガジン[みち・コ]

[michi-co] みち・コミュニケーション

東北地方のドライブ旅行に欠かせない情報誌が、『michi-co』。これは東北観光の振興を目指して、「東北『道の駅』連絡会」が年4回発行しているフリーマガジンで、東北全域に広がる「道の駅」の案内所を中心に置かれ、そこを訪れる人々に、道の駅を中心としたグルメ、温泉、観光イベント情報などを提供している。

誌名の『michi-co』には、「みち・コミュニケーション」という意味が反映されており、東北を訪れる旅行者が「道を通じて」さまざまな人々、物産、観光資源と交流してほしいという願いが込められている。

切り口は、徹底した現場密着主義。

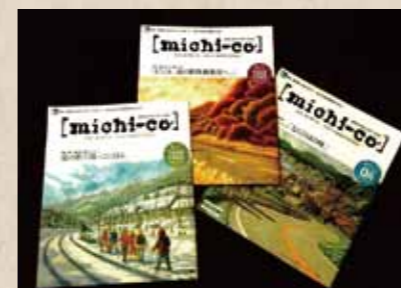
取材者がグルメや温泉などのテーマに沿って現場を訪れ、その地で提供される旬の味や、お風呂の泉質を肌で感じ、管理者たちの談話もしっかり収録して、丁寧に誌面をつくっている。

誌面から立ち上ってくるのは、人と人が触れ合うことの温かさ。どのページを開いてみても、東北の「道の駅」で働く人々の笑顔と優しい言葉が絶えることがない。だからページを開くと、まるで誌面そのものが、地方から訪れた旅行者に向かって、東北人を代表して歓迎の挨拶を行っているかのようだ。

巻末には、東北「道の駅」のマップや季節ごとのイベント情報なども盛りられ、ドライブ旅行をサポートする実用性の高い誌面づくりが行われている。



好評につき、第5号(6月25日発行)からは年間定期購読も受付中！
詳しくは第5号、または東北「道の駅」連絡会までお問合せください。



発行 / 東北「道の駅」連絡会
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-13-32 オーロラビル2F
TEL:022-398-5518 FAX:022-722-3381
企画・監修 / 特定非営利活動法人 東北みち会議
企画・制作 / michi-co編集部 (川口印刷工業株式会社内)
〒020-0841 岩手県盛岡市羽場10-1-2
TEL:019-632-2211 FAX:019-632-2217

※ このたびの『くるま旅』9号の制作では、画像提供などを含め、この『michi-co』編集部より多大なご協力をいただきました。